

PART 1

診断の精度を上げるためのデンタルエックス線画像活用編 他の画像とどう使い分けるか

Chapter 1 放射線学者・歯周病専門医・一般開業医でディスカッション! 歯科用 CBCT と共存時代のデンタルエックス線画像の意義と価値

Discussion1 生涯歯をもたせる時代だからこそ、デンタルエックス線画像の活用が欠かせない

Discussion2 個々の歯に対する綿密な診断には高解像度であるデンタルエックス線画像を使うべき

Chapter 2 放射線学者が解説 歯科診療室におけるデンタルエックス線画像活用の基本と他の画像との使い分け 柿本直也

1. デンタルエックス線画像で正確な診断を行うための基本知識

- 1-1 う蝕：う蝕の進行や範囲に関する診断に活かす
- 1-2 歯周病：歯周病の状態の三次元的な把握に不可欠
- 1-3 根尖病変：1歯単位の診断に活かす

2. 各種エックス線画像の適材適所な活用法

- 2-1 デンタルエックス線画像 VS パノラマエックス線画像
- 2-2 デンタルエックス線画像 VS 歯科用 CBCT 画像

Chapter 3 歯周病専門医が解説 歯周治療にデンタルエックス線画像が「欠かせない理由」 藤田剛

1. 歯周治療前の診査・診断にデンタルエックス線画像はなぜ、欠かせないのか?
2. ブローピングポケットデプスのみでは、なぜ診査資料として事足りないのか?
3. バントモエックス線画像、歯科用 CBCT で代替できないのか?
4. 歯周治療の再評価にデンタルエックス線画像はなぜ、欠かせないのか?
5. 歯周治療における規格性のあるデンタルエックス線画像の必要性

Chapter 4 歯周治療と継続的管理(う蝕・歯周病)に活かすデンタルエックス線画像 高橋啓

1. デンタルエックス線画像を治療や経過観察に活かすための環境が大切
2. 状況に応じて、撮影パターンを変え、歯周病の継続的管理に活かす
3. バイトウイング法を小児のう蝕の管理に活かす

PART 2

診断に耐えうる“美しい”デンタルエックス線画像を撮る

Chapter 5 精度の高い診断のための美しいデンタルエックス線画像撮影テクニック 滝沢江太郎

1. 診査・診断に足るデンタルエックス線画像は“質が高く”“比較できる”ことが大事

Prologue 目標とするデンタルエックス線画像を決めよう

- 1-1 なぜ、10枚法でなければならないか
- 1-2 デンタルエックス線画像の規格性：その理想と現実
- 1-3 デンタルエックス線画像の撮影時期の目安

2. 前歯部の撮影テクニック

- 2-1 前歯部撮影 照射コーンの位置付け方
- 2-2 前歯部撮影 撮りにくい部位の工夫 Point

3. 臼歯部の撮影テクニック

- 3-1 フィルムホルダーを使いこなすための Point
- 3-2 3つの STEP をクリアすれば上手く撮れる
- 3-3 STEP1 IP を正しく位置づける
- 3-4 STEP2 コーンを位置づける
- 3-5 STEP3 IP とコーンの位置関係を調整する

4. 日常的に合格ラインの撮影をするための院内の撮影環境整備と工夫

- 4-1 撮影環境について
- 4-2 全額撮影時間の目安：他院は何分くらいで撮っている?
- 4-3 撮影に関する自院のルールを決めておこう
- 4-4 撮影後の工夫あれこれ

Chapter 6 デンタルエックス線画像撮影テクニック：上手いかない時の対処法 滝沢江太郎

1. 上手いかない原因を3つの要素から探ってみよう

- Point1 臼歯部平行法の3つの STEP を思い出してみよう
Point2 コーンの位置付けを確実にするための手順を覚えよう

2. 撮影時の工夫あれこれ

- 工夫1 フィルムホルダーによる IP の挟み方のバリエーションを工夫する
工夫2 近心傾斜している最後臼歯は、IP を斜めに挟んで撮る
工夫3 臼歯部を複数枚撮影する時には、できる限り遠心を先に撮影する
工夫4 小さい IP (サイズ0や1) を使う
工夫5 左側の撮影時は左手で IP を位置づけるのも一案
工夫6 左右非対称の症例には、隣接面が重ならないよう工夫が必要
工夫7 ケースによっては二等分法を選択する
工夫8 パーシャルデンチャーを上手く使って撮影する

Chapter 7 レベルアップ! 歯周治療のデンタルエックス線画像—平均80点の美しい画像で診断の精度を上げる— 高橋啓

1. 日常臨床におけるより正確な診断のために、平均80点以上の画像を目指す

- Point1 歯周治療が主訴で撮影する時のデンタルエックス線画像の条件
2. 上達の近道は、撮影前に「撮りやすいか」「撮りにくそうか」を見極め工夫すること

- Point1 見極めができていれば80点がとれるようになる
3. これは“難しい”とあきらめず、インジケーターの位置調整で粘ろう

Point1 インジケーターのずれが問題

4. 防ぎたい! デンタルエックス線画像読み込み時のエラー

- Point1 些細な原因でもエラーは発生する
Point2 IP のスキャンによる人的エラー

本書で撮影テクニック習得の近道と
臨床でのフル活用法がマスターできます!

診断の精度を上げる!

デンタルエックス線画像 撮影^秘テクニック & 活用法

治療、予防における精度の高い診断に
今でも不可欠なデンタルエックス線画像。
でも、それに足る規格性のある質の高い
画像撮影は意外と難しいのが現実。

- 1 規格性というけれど、現実的な落とし所はどこ?
- 2 前歯部、臼歯部で撮りにくい部位の基本の撮り方は?
- 3 うまくいかない原因は3つ
- 4 これを知っていればほぼどんな状況でも撮影できる
- 5 いつも80点の画像をすべての患者に撮る方法 など

開業したての先生や、
撮影に関するお悩み解決や画像の
レベルアップを図りたい先生に最適の一冊。



A4判、156ページ、定価8,000円+税

注文票

品名	税込価格	冊数
診断の精度を上げる! デンタルエックス線画像撮影 ^秘 テクニック & 活用法	8,800円	

著者一覧

Dental X-ray



柿本直也 (かきもと なおや)
広島大学 大学院医系科学研究科
歯科放射線学 教授



藤田剛 (ふじた つよし)
三重県伊勢市
藤田歯科 院長



高橋啓 (たかはし あきら)
愛媛県愛南町
たかはし歯科 院長



滝沢江太郎 (たきざわ こうたろう)
青森県青森市
たきざわ歯科クリニック 院長



デンタルエックス線画像撮影^秘テクニックと活用法を近道で習得できる本



本書の特徴 1

デンタルエックス線画像ならではの強みがわかる



歯科用 CBCT との共存時代、デンタルエックス線画像の強みはどこか？
デンタルでなければ診断できない事項を**放射線学者**、**歯周病専門医**、**かかりつけ医**が多角的に解説

本書の特徴 2

撮影テクニックを近道でマスターするためのテクニックが習得できる



部位別、目的別、うまくいかない時のデンタルエックス線画像撮影^秘テクニックを全公開！

Chapter 1 デンタルエックス線画像 VS パノラマエックス線画像

2-1 特徴別の歯科用片側ではデンタルエックス線画像が有利

2-2 特徴別の歯科用片側ではデンタルエックス線画像が有利

放射線学者がデンタルエックス線画像の普遍的な価値と他のエックス線画像との使い分けを解説

2-1 デンタルエックス線画像 VS 歯科用CBCT画像

2-2 特徴別の歯科用片側ではデンタルエックス線画像が有利

Chapter 2 撮影部位

2-2 撮りにくい部位の工夫Point

Point 1 3番歯の14番歯の歯根が長い歯

この歯をどう撮る？ 正確な撮影の撮るべき角度の目安がある

これで撮れば、1秒で撮れば3秒で撮るよりも撮りやすい

TECHNICAL ADVICE 3

二等分法を選択する時には

歯科用 CBCT、パノラマエックス線画像の技術が進んでも、**歯周病専門医**が歯周病の診断になぜ、デンタルが必須かを解説

Chapter 3 歯周治療の再評価にデンタルエックス線画像はなぜ、欠かせないのか？

4 歯周病治療の再評価に必要

Chapter 3 歯周治療における規格性のあるデンタルエックス線画像の必要性

4 歯周病治療の再評価に必要

Chapter 2 撮影時の工夫あれこれ

2-1 フォルムカメラで撮影時のポイント

2-2 正確に撮りたい歯の位置に、カメラを近づける

Point 2 Angle 傾きを調整して撮りたい歯の位置に近づける

撮影がうまくいかない時の対処法、工夫の仕方が事細かにわかる！

Chapter 4 状況に応じて、撮影パターンを変え、歯周病の継続的管理に活かす

2 状況に応じて、撮影パターンを変え、歯周病の継続的管理に活かす

かかりつけ医が“生涯歯を守る”ための治療、予防、経過観察での価値と活用法を解説

Chapter 4 バイトウイング法を小児のう蝕の管理に活かす

インジケーターの工夫でここまで変わる！
自院の撮影レベルを平均 80 点にする方法を伝授

2 上述の近道は、撮影前に「撮りやすいか」「撮りにくそうか」を見極める工夫すること

インジケーターの工夫でここまで変わる！

現在の出来栄 20点

現在の出来栄 80点